

製品名: CD40 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80757**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30.6kDa

抗原情報

遺伝子名	CD40
別名	p50; Bp50; CDW40; TNFRSF5
遺伝子 ID	958.0
SwissProt ID	P25942
免疫原	大腸菌で発現した CD40 の精製された組み換え断片。

背景

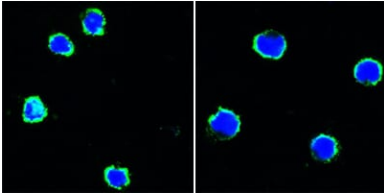
CD40 分子、TNF 受容体スーパーファミリー 5 のメンバー。TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。この受容体は、T 細胞依存性免疫グロブリンクラススイッチ、メモリー B 細胞の発達、胚中心形成など、さまざまな免疫応答と炎症応答の媒介に必須である

ことがわかっています。ATフック転写因子 AKNA は、この受容体とそのリガンドの発現を協調的に制御することが報告されており、同型細胞相互作用に重要である可能性があります。アダプタータンパク質 TNFR2 はこの受容体と相互作用し、シグナル伝達のメディエーターとして機能します。この受容体とそのリガンドの相互作用は、アミロイド β 誘導性ミクログリア活性化に必要であることが判明しており、したがって、アルツハイマー病の発症の初期イベントであると考えられています。異なるアイソフォームをコードするこの遺伝子の2つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。

研究分野

-

画像データ



CD40 マウス mAb (緑) を用いたヒト末梢血リンパ球 (左) とマウス L1210 細胞 (右) の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。